

概 要

1. 開催の趣旨

東京国際空港（以下「羽田空港」という。）では、2010年10月に予定している新滑走路・国際線ターミナルの供用開始に伴い、航空機発着回数的大幅な増加とともに、国際定期便の就航や深夜早朝時間帯の活用が予定されている。

再拡張後の羽田空港においては、このような機能面・量的面での拡大に対して適切に対応することが必要であり、特に、深夜・早朝時間帯のアクセスの確保と旅客ターミナルにおける所要のサービスの提供、国際線と国内線との間の乗継ぎ改善が重要な課題となっている。

そのため、羽田空港の望ましいアクセスとサービスのあり方について、関係者・事業者間の横断的な体制により、問題点・課題を整理し、実務的かつ具体的な検討・調整を図ることとする。

2. 検討体制

バス事業者、タクシー事業者、鉄道事業者、レンタカー事業者、航空会社、空港ビル運営会社、観光事業者、関係自治体（東京都、神奈川県、千葉県）、国

3. 整理すべき課題等

- (1) 深夜早朝時間帯のアクセスのあり方
(特に羽田空港から主要ターミナル到着後の交通手段)
- (2) 深夜・早朝時間帯における国際旅客ターミナルビル内のサービスの提供
- (3) 羽田空港内における国際線と国内線との間の乗継利便性の向上
- (4) 羽田空港内及び空港近傍における宿泊・休息施設のあり方

今後のスケジュール

第1回WG

平成21年5月14日（木）14:00～16:00

- ・羽田空港のアクセスとサービスの現状について
- ・利用者ニーズアンケート調査結果についての報告

第2回WG

平成21年6月上旬

- ・アクセスとサービスのあり方に関する課題等の整理
- ・関係者からのヒアリング結果についての報告

第3回WG

平成21年6月中旬～下旬

- ・アクセスとサービスのあり方に関する課題等の整理